

すべてのお客様に『安心と満足を』

今、金山印刷が取り組んでいること、ご提案できることをお客様へお伝えするインフォメーションです。

## 探検！ 印刷会社のお仕事

### 第5回 製本

印刷会社って、実際どんなことやっているの？ 工場見学にいらしていただいた方もそうでない方にも、“わかりやすく”を念頭に印刷会社の中身をご紹介します。



## 今回は、印刷を終了した後の「製本」工程をご紹介します。

印刷を終了した用紙(刷本といいます)はいよいよ製品の姿に近づきます。書籍やパンフレットにするために平綴じ、中綴じといった「綴じ加工」をしたり、リーフレットにするために、巻三つ折り、Z折りなどといった「折り加工」をしたりして、製品の姿にする工程を「製本」といいます。その仕様によって、動く機械や工程が異なります。

### ① 断裁機

印刷後、用紙の余白など不要な部分をカットし、サイズを正しく仕上げています。表裏のみのチラシ類は、これで加工は終了です。折り加工、中綴じ加工を行う製品は、それぞれの工程に進みます。大型の断裁刃を使うため、事故防止の安全装置の設置はもちろんのこと、正しい操作で行っています。



### ② 折り機

二つ折り、観音折りなど、リーフレットに仕上げるために用紙を折る「折り機」です。用紙があっという間に折られていく様子は、意外に面白いですよ。



### ③ 中綴じ機

こちらはパンフレットなどを綴じる中綴じ機。自動で1枚ずつ用紙を重ねて流れていきます。

中綴じ機の大きなホチキスが自動で綴じます。



#### ご注目 その1

1冊あたりの重量を量るこの装置は、ページが多かったり、少なかったもの(増落丁品)を感知し、万がーを防ぎます！



#### ご注目 その2

この乱丁防止装置は、中綴じのページ順が間違っただけの場合でも、モニターが異常を感知し、万がーを見つけ出します！



このコーナーでは、システム開発の様子を紙芝居的に表現し、開発に関する問題点や苦悩を(主に苦悩を)赤裸々にご紹介して参ります。尚、登場する団体、個人は、全て架空の存在であり、実在するいかなる団体、個人とも一切関係ありません。

KPC広報部のフィーンとマールが、地下で会議をしているようです…

**フィーン** 最近、不正アクセスや、個人及び機密情報流出の被害が増加しています

**マール** mixiやLINEのアカウント乗っ取り事件が記憶に新しいな

**フィーン** 同じアカウント名とパスワードを使いまわしていると、どこかでパスワードが流出した場合、他のサービスが攻撃を受けた際に、情報流出する可能性がきわめて高くなります

**マール** リスト化されたパスワードで順番にチェックすれば、ヒットする確率は高いからだ

**フィーン** 問題は、最初にユーザー情報を抜かれてしまったシステム。そして、同じパスワードを使いまわしているユーザーです

**マール** システムの脆弱性と、個人の意識の問題か

**フィーン** そうです。それで、今回のテーマはシステムの脆弱性対策です

**マール** それは重要だ

### (( POINT ))

製品やサービスが有名であればあるほど、不正アクセスや攻撃の対象にされる可能性は高いと思われます。ログイン時に必要な情報を追加するなど、他のサイトが破られても、問題が生じにくい構造にする等の対策を講じる必要があります。



### (( POINT ))

外部のチェックを受けておくことは、リスクヘッジの上でも重要と思われます。

**フィーン** ずばり!運営者は、第三者機関のチェックを受けること!

**マール** いきなり結論か?

**フィーン** 紙面が足りません。今回のテーマは、それだけで本の1冊や2冊は書けるくらいの内容です(私は書けません)

**マール** ここでは注意喚起にとどめるか

**フィーン** はい。WEBもまだまだ過渡期であって、法律が整備されているとはいえない状況です

**マール** 不正アクセス禁止法は?

**フィーン** あれは、文字通り不正なアクセスを禁止しているのであって、不正アクセスを許す構造を作ってはならない、こんなふうに作りなさい!という法律ではありません

**マール** でも、不正アクセスされない構造にするのは、当然のことだぞ

**フィーン** しかし、それをチェックする建築基準法のような法律が無いのです

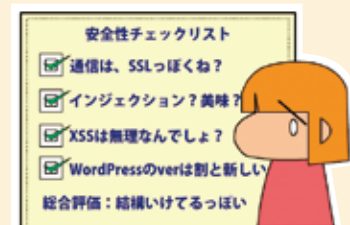
**マール** なるほど

### (( POINT ))

WEBに関する基準や法整備は、まだ過渡期ですから、自衛の対策が必要と思われます。

※忘れてならないのはセキュリティです。

お客様の情報を収集している場合や、検索機能等を有する場合は、第三者機関のチェックを受けたほうがいいでしょう。



今回は、当社の特定の人物にスポットを当ててご紹介いたします。Xレーサーの大橋尚哉選手です。普段は温厚なひげのおじさんですが、その正体は、スティックなスポーツ選手だったのです!

### 「ギャップ萌え!」

自転車競技のひとつ、マウンテンバイクによるクロスカンントリーレース(以下XCレース)に10数年取り組んでいます。スキーや陸上のクロスカンントリー競技の自転車版といえはよいでしょうか。

マウンテンバイクという障害物を乗り越えたり飛び跳ねたり、または荒れた急勾配を下ってなんてことを思い浮かべる方が多いですけど、XCレースは地味であり見栄えがしません…。

地味でマイナーなスポーツですけど実はオリンピック正式競技だったりするんです。

XCレースはアップダウンのあるオフロードコースを走って順位を競います。

主にオフシーズン中のスキー場のグレンデや林間部を使った周回コースで行われ、レース時間は90~120分になります。そして順位毎にポイントが与えられ、その合計ポイントで年間ランキングが決まります。ポイントによる年間ランキング争いというのはJリーグや

F1と似ているでしょうか。そして、ランキング上位の選手は上級クラスに昇格、下位は降格という点も同じですね。

レースに向けての練習は普段から山道を走っている訳ではありません。

山道を走るのには月に1、2回しかなく、週末に交通量の少ない広域農道で3~4時間/70~100km程走ることがメインで、プラスαで平日の3日程度、1日約50km走るといのが普段の練習になっています。

今、トップカテゴリーであるエリートクラスで走っています。

オリンピック代表選手やプロ選手もいる中で走っているものの、足下にも及ばないというのは言うまでもありません(苦笑)。

まずはエリートクラスに残留、そして去年の年間ランキングから順位を上げることを目標に頑張っています。



平日は、工場へ渡す印刷最終データを作成しています

次回は9月発行予定です。ご期待ください!